

69回目の巣立ち

昨日、平成28年度朝明中学校卒業証書授与式を、四日市市教育委員会指導課長 廣瀬琢也 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜るなかで挙行いたしました。第69回目となる式では、感動的な答辞・素晴らしい歌声を披露するなどした225名の生徒が、たくましく本校を巣立ちました。そこで今回は、卒業式での生徒に向けた私のメッセージ(告諭)を、抜粋ですが掲載いたします。

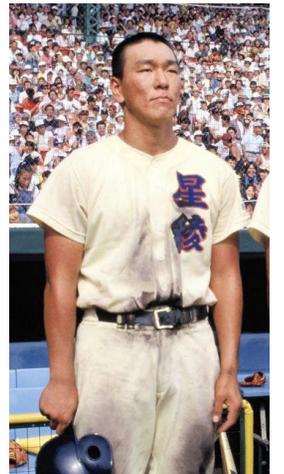


本校を巣立つ卒業生の皆さん。卒業、おめでとう。今、皆さんは、緊張のなか卒業証書を手にし、計り知れない感動で一杯のことと思います。また本日まで、お子さまの成長を温かく見守ってこられた保護者の皆様におかれましても、感慨は一入(ひとしお)のことと拝察いたします。心からお祝いを申し上げます。

さて3年前の4月、卒業生の皆さんは希望に胸を膨らませ朝明中学校に入学されました。そして、3年間の中学校生活の中で、校訓「和・学・鍛」のもと、仲間と和み、学び、心身を鍛えて成長された皆さんは、今まさに新たな人生の1ページを拓かれようとしています。

そこで、これから新しい目標や夢に向かってスタートする皆さんの更なる成長を願って、「鍛錬における習慣の大切さ」について、いくつかのエピソードを紹介しつつ饒としてお話ししたいと思います。

皆さんは、国民栄誉賞にも輝いた元プロ野球選手、松井秀喜さんをご存じでしょうか。アメリカメジャーリーグでも活躍された松井さんは、高校時代から、将来はプロ野球を背負って立つ選手になると期待されていました。そんな松井さんでしたが、今から二十五年前の夏の全国高等学校野球選手権大会で、大きな試練を体験しました。それは、二回戦で対戦したチームが、松井さんに対してストライクを全く投げないという極端な作戦に出たからです。その結果、松井さんは強打を発揮できず敗退してしまいました。試合終了後、甲子園球場は大騒ぎとなりました。そして誰もが、「松井は落ち込んでいるだろうな」と慮りました。



【高校時代の松井さん】

ところが試合後のインタビューで松井さんは、負けた悔しさをにじませてはいたものの、毅然とこう語ったのです。「敬遠で相手を歩かすのも作戦。自分がどうこう言えません」と。これを聴いて多くの人が高校生・松井選手の気丈さに心を打たれました。その後、松井さんは人気・実力とも兼ね備えたプロ野球選手として大活躍しました。そんな頃、私は、松井さんが高校時代から大切にしている言葉を知りました。それは、次のような言葉でした。

心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。

この言葉から私が強く感じるのは、習慣の大切さです。人の能力は、多くの場合、鍛錬＝トレーニングによって伸ばされます。学校生活でいえばテスト前の集中的な勉強、部活動での猛練習などが、皆さんにはすぐに思い当たることではないでしょうか。また体育祭での大縄跳びや全員リレー、文化祭での合唱、などにおける学級の取組みも、実は、協調性などを育むトレーニングと言え、ひいては学校における活動のすべてがトレーニングと言っても過言ではありません。ただトレーニングは一時的な努力だけではあまり効果が望めません。そこでポイントとなるのが習慣です。

何事も、続けて取り組むと強みや長所が生まれます。そして、さらに継続すれば、やがて習慣が形成されます。習慣が身に付くと日々の生活に大きな変化が訪れ、目標の達成がぐっと近づきます。例えば、新しいクラスで周囲は知らない人ばかり。そんな中で友達を作ろうとするとき、効果的なのは、何といても笑顔の挨拶ではないでしょうか。誰にでも笑顔で挨拶することが習慣になれば、必ず周囲との会話が増え、友だちをつくるきっかけとなります。このように、習慣は目標の達成を身近にしてくれるのです。

また、習慣にはもう一つ大きな効果があります。皆さんはラグビー日本代表の五郎丸歩選手が、フリーキックの前に必ず蹴る方向を見定めながら、両手を合わせたような動作をするのを知っていますか。ルーティンと呼ばれるこのような型にはまった一連の動作は、しっかり身に付くと、心の平静さや、自信を保つ効果があるといわれています。事実、五郎丸選手は、ルーティンを自分のものにできるようになってから、どんな緊迫した場面でも自分を見失わなくなり、キックが以前よりたいへん正確になったと言います。このように習慣は、普段の努力を発揮する要素にもなるのです。



【五郎丸選手のルーティン】

さて、皆さんは、4月から新しい環境での生活を始めます。最初は慣れずに戸惑うことはあると思いますが、どうか本校の校訓の一つ「鍛」の精神で培った粘り強さを発揮してください。それとともに、今いくつかの例を挙げてお話ししたように、「適切な習慣」を身に付け、いっそう心や身体を鍛えてください。それにより、皆さん一人一人が、心身の健康を図り、豊かで実りのある人生を実現されますことを、心から期待しております。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。